本日、ここに平成 18 年度の一般会計予算をはじめとする諸議案のご審議をお願いするにあたりまして、市政運営に関する所信の一端と施策の大要を申し上げます。

今回、ご審議をお願いいたします当初予算案は、私が市長に就任させていただき 2 回目の予算編成であります。この間、想像以上に多くの課題がありました。その解決にスピードを上げて取り組んできたところではありますが、最優先課題である財政問題の解決には未だ至っておりません。しかしながら、小学校の統合等、大きな課題について、市民の皆さんのご理解をいただき、その方向性を決定するなど、その他の課題も一つひとつ着実に解決の方向に向かっていると考えております。

平成 18 年度は、私の市政への取組に対する考え方をさらに具体的な形にし、浸透させる年にしてまいりたいと思います。そのうえで、極めて厳しい財政状況のなかではありますが、「夢のあるまちづくり」を目指してまいります。

さて、我が国の経済であります。企業の好調さが徐々に家計へ波及していることから、今後も、消費や設備投資は引き続き増加し、景

気は、民間需要中心の緩やかな回復を続けると見込まれております。また、雇用面におきましても、厳しさが残るものの改善に広がりが見られ、完全失業率は若干低下するものと見込まれており、国内総生産（GDP）の実質成長率は引き続き、プラスと見通されております。

しかしながら、我が国の財政は極めて深刻な状況にあります。これまでに経験したことのない人口減少社会の到来、高齢化の急速な進展等に伴う諸経費の増大や、依然として高い公債依存などにより、歳入歳出構造はますます硬直化しております。「裁量的経費」はもとより、「義務的経費」の自然増をも放置することなく、制度・施策の抜本の見直しにより歳出の抑制を図り、将来世代に責任が持てる財政を確立することが求められております。

このような状況のなかで、国は、「地方にできることは地方に」との方針の下、「三位一体の改革」を進め、4兆円を上回る国庫補助負担金の削減、3兆円規模の税源移譲及び地方交付税制度改革を実施するとしております。ただ、その中味を見ますと、地方の自立と責任を確立するための取組と言うものの、残念ながら、地方分権の理念に沿わない課題が一部残されたままであります。今後、国に対し、真に地方独自の政策が実現できるよう、地方の声を届けていかなければならないと感じております。

一方、本市の財政状況を見ますと、平成 16 年度決算では、歳入において、市税総額は 173 億円を下回り、前年度に比べて法人市民税は回復を見せたものの、個人市民税や固定資産税は減少し、市税総額は 3 年連続の減少となりました。歳出では、繰出金や建設事業費の抑制などにより、実質で前年度比減となりましたが、依然、扶助費や公債費などの義務的な経費が増加しております。その結果、歳出の削減努力にもかかわらず、財政の健全性を示す経常収支比率は 105.6%と前年度に比べて 0.2 ポイント悪化し、平成 8 年度以降 9 年連続で 100% を上回り、極度に硬直化した状況が続いております。

今年度の予算編成にあたって、歳入では基金の取崩しと臨時財政対策債の発行、歳出では、公共下水道事業特別会計で資本費平準化債を発行し、繰出金を抑制するなど工夫をいたしました。これらの歳入、歳出両面からの努力にもかかわらず、なお厳しい財政状況が続く、これまで財源調整を行ってきた基金も残高が減少し、今後の摂津市の財政運営においては、一層、収支の改善を図ることが強く求められております。

このような状況のなかにあっても、社会環境の変化による新たな課題や市民ニーズに応え、また、老朽化する施設の更新も進めなければなりません。そのためには、財政危機の克服を目指した

行財政改革をさらに推進することが必要であります。

本市では平成8年に「摂津市行財政改革大綱」を策定して以来、今日まで行財政改革を計画的に進めてまいりました。そして現在、第3次の計画に基づいて取り組んでいるところであります。このようななか、平成17年3月に総務省から「地方公共団体における行政改革の推進のための新たな指針」が示され、全国の自治体において、平成21年度を目標とした「集中改革プラン」を策定することとなりました。本市では、現在の第3次の計画を発展的に見直し、「新アクションプラン」として改定いたします。このプランは全国の他団体と比較可能な指標に基づき、国のホームページや公報などで、その成果が公開されることとなっております。つまり、各自治体の努力が住民に厳しく評価されることになるわけであり、今後、このプランに基づき、職員一丸となって、より一層、気持ちを引き締め、スピードアップを図り、改革に取り組んでまいります。

とりわけ、「内なる改革」を後に回すことなく、プランの柱でもあります「定員管理の適正化」、「給料・手当の適正化」、「民間委託等による経費の削減とサービスの向上」には、今後も積極的に取り組んでまいります。

一方、これまで行ってきた事務事業についても行政評価システムな

どを活用し、見直してまいります。当然、市民サービスにかかる事業も再構築することになります。市民の皆さんには引き続き、何かとご辛抱をお願いすることになりますが、この改革は必ず、先の結果につなげてまいります。何とぞ、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

近年、日常生活をおびやかす凶悪な犯罪が続発しております。とりわけ、子どもが被害者となる悲惨な事件が跡を絶ちません。それに加え、地震や異常気象による自然災害が多発し、人々の生活に多大な影響を及ぼしております。市民の暮らしの安全を守るためには、行政の確かな対応はもちろんですが、自治会や校区など地域コミュニティの力が不可欠であります。私は、人々が温かく、協働し、まちづくりに積極的に参画しているまちこそが、最も安全で安心なまちであると確信しており、そのようなまちづくりの基礎に、私が一貫して申し上げます「人間基礎教育」の心が必要であると考えております。

市長就任以来、「思いやりの心」、「奉仕の心」、「感謝の心」、「あいさつを励行する心」、「節約・環境を大切にすること」、「この5つの“人として当たり前”のルール”を守れる人づくりである「人間基礎教育」の理念が理解されるよう、「オール摂津で取り組むんだ」と、事ある

ごとに市民の皆さんに訴えてまいりました。また、市役所庁舎や市内公共施設、学校などに懸垂幕等を掲げ、広報紙でも広くお知らせしてまいりました。今年度も全ての施策の基礎に、その精神を活かしてまいります。

それでは、具体的な施策についてご説明申し上げます。

今回の予算編成並びに諸議案の作成にあたりまして、3つの特徴を申し上げます。

一つ目は、今日の社会状況に鑑み、「都市宣言」及び3つの条例の制定を行うことであります。

二つ目は、限られた財源のなか、重点化する事業に予算配分を行うことであります。昨年度は「安全・安心のまちづくり」、「障害者の自立支援」をテーマにしましたが、本年度は加えて「地域」、「女性」をテーマとし、各部局から提案を求め、重要性、有効性などを勘案して事業を選択いたしました。

三つ目として、本年11月に市制施行40周年を迎えますことから、記念事業を行ってまいります。最少の経費での実施といたしますが、事業を通して市民の皆さんとふれあい、本市の40年の歩みを祝いつつ、これからの発展をともに願ってまいります。

以下、平成 18 年度に取り組みます新規事業を中心とした主な施策につきまして、「摂津市総合計画」に示しております 6 つのまちづくりの方向に沿って、ご説明申し上げます。

第 1 に「つどい、いこい、にぎわう好感都市づくり」についてであります。

南千里丘のまちづくりにつきましては、引き続き、各関係者との合意に向け、調整に取り組んでいるところであります。早期の合意を目指し、今後、本市が主体性をもちながらまちづくりを進めるとともに、民間活力を最大限に活用した本市の新たな拠点づくりの実現に努めてまいります。

また、併せて、市民交流拠点として総合福祉会館等の施設を複合した「(仮称) コミュニティプラザ複合施設構想」を検討し、施設の高度化・高次化を図り、より充実した市民サービスが提供できるまちづくりを進めてまいります。

吹田操車場跡地への梅田貨物駅の移転につきましては、過日、関係者会議が開催され、「吹田貨物ターミナル駅 (仮称) 建設事業の着手合意協定書」が締結されました。このことによって生み出される吹田操車場跡地の利用は、J R 千里丘、阪急正雀両駅周辺のまちづくりと

大きくかかわってまいります。今後、大阪府、吹田市とも協調し、将来のまちづくりについて、事業推進の方策を検討してまいります。

第2に「やさしさあふれるところづくりを進める幸福感都市づくり」についてであります。

人権施策につきましては、基本的人権に対する理解と認識の現状を把握するため、「市民人権意識調査」を行ってまいります。また、摂津市人権協会が実施しております「人権なんでも相談」や啓発事業等につきましても、大阪府と連携・協力しながら支援してまいります。

男女共同参画社会の実現に向けた取組としましては、「せつつ女性プラン」の改定を実施しますとともに、市内で活動する市民グループが企画する事業について、男女共同参画センターの共催・後援を拡大してまいります。

福祉全般の施策につきましては、「地域福祉計画」の推進を図るために、社会福祉協議会が建設を予定されております安威川以南の活動拠点の整備に対し、補助を行ってまいります。また、平成17年度から第一中学校区で取り組んでおりました「コミュニティソーシャルワーク事業」について全中学校区での展開を図り、高齢の方や障害のある方、子育て中の方など地域の要援護者とその家族への総合的な支援

を拡充してまいります。

高齢者施策につきましては、在宅の方を対象として実施しております、ヘルパーによる見守り訪問や、愛の一声訪問、緊急通報装置などの情報を一元管理することで安全・安心の強化を図ります。さらに、ひとり暮らしの高齢者などにバランスの取れた食事を提供するとともに、見守りにも効果を上げております「ふれあい配食サービス」の夕食サービスを安威川以南地域へも拡充してまいります。

介護保険につきましては、要介護認定を受けていない虚弱高齢者を対象に、筋力アップや栄養改善、口腔機能の向上を目的とした介護予防事業を展開してまいります。さらに、高齢者の地域ケア体制の核となる「地域包括支援センター」を設置し、要支援者に対するケアプランの作成、地域支援事業における介護予防マネジメント、高齢者の権利擁護・総合相談などを行ってまいります。

重点としました障害者施策では、小規模通所授産施設の機能強化を支援するため、授産事業開拓員の配置について補助を行ってまいります。また、市におきましても一事業所として、市内在住の身体障害のある女性2名を新規採用してまいります。また、障害児童センターにおきまして、障害のある児童のための日帰りショートステイ事業を実施してまいります。

本年4月から障害者自立支援法が施行され、これまでの身体障害のある方、知的障害のある方に加え、精神障害のある方も、共通の制度により福祉サービスの提供を受けることとなります。関係者の皆様のご意見を聴きながら制度の移行が順調に進むように努めてまいります。

バリアフリーの推進につきましては、引き続き、阪急正雀駅のバリアフリー化に伴うエレベーター設置費用の補助を行ってまいりますとともに、市民ニーズが高いことから、「交通バリアフリー基本構想」の計画を早めて、さらにJR千里丘駅のエレベーター設置につきましても補助を行い、スピードを上げて取り組んでまいります。

子育て施策につきましては、重点である安全・安心施策として、公立保育所にカメラ付きインターホンと正門の電気ロック錠、そして近隣へ非常事態の発生を知らせる「ブザー付き赤色回転灯」を設置し、児童の安全確保の充実を図ってまいります。また、保育内容の充実としましては、一時保育、病後児保育、子育て講座や相談などを新たに実施する民間保育園に対して補助を行ってまいります。

子どもを育てやすい環境づくりとしましては、ちびっこ広場を東別府に新たに整備するとともに、一津屋の広場の拡張を行ってまいります。また、小学校の学童保育室につきましては、入室児童の増加に対

応するため改修してまいります。入室の要件につきましても、養護学校在籍児童の受入を始めるなど充実を図ってまいります。

母子家庭等への施策につきましては、総合的、計画的な自立支援策を実施するため、アンケート調査により現状を把握し、「母子家庭等自立促進計画」を策定してまいります。

健康づくり施策としましては、女性に重点を置き、大阪府内市町村のなかでも受診率が低い、乳がん、子宮がんの検診について、検診回数を増やすことで受診を促し、早期発見、早期治療に効果を上げてまいります。

国民健康保険につきましては、いつでも安心して医療を受けることができるよう、安定的な財政運営を行うため、保険料の賦課割合を改定する一方、30歳から40歳未満の被保険者を対象に、基本健診を実施するなどサービスの向上を図ってまいります。

第3に「地球時代のひとづくりを進める交歓都市づくり」についてであります。

文化活動の振興につきましては、文化の薫り漂うまちづくりと心豊かで潤いのある市民生活の向上を目指した「文化振興条例」を制定し、文化振興施策を推進するための「文化振興計画」を策定してまいりま

す。

さらに、20年にわたって続けてまいりました全国規模のクラシック音楽のコンクールであります「摂津音楽祭」を、より多くの市民に知っていただくとともに、クラシック音楽を身近に触れていただくために、本選出場者に協力いただき、市役所ロビーや小学校でのコンサートを行ってまいります。

一方、市民の皆さんに長い間、親しまれてまいりました総合福祉会館をこのたび閉館することにいたしました。その代替施設として、みやげ幼稚園の跡に「ふれあいルーム」を、また、フォルテ摂津に会議室2室を開設してまいります。

子どもの安全施策としましては、大阪教育大学附属池田小学校児童殺傷事件以来、子どもが犠牲となる悲惨な事件が続発しており、その対策が喫緊の課題となっております。本市では全国に先がけて小学校に受付員を配置するとともに、学校において児童に対する安全指導を行うなど、子どもの安全対策に取り組んでまいりましたが、子どもを守り、育てるには、多くの市民の協力が必要であり、行政と市民とが一体となって子どもの安全を確保し、安心して過ごせるまちを目指して、「子どもの安全安心都市」を宣言いたします。

そして、本市の重点施策であります安全対策の強化といたしまして、

青色回転灯を装備しましたパトロール車で市内を巡回し、登下校時の児童の安全確保とその啓発を行ってまいります。さらに、小学校正門で行っております受付員の配置を、幼稚園におきましても実施し、来園者を確認する体制を整備してまいります。

学校教育につきましては、市立小中学校適正規模・適正配置計画のとおり、三宅小学校と柳田小学校、味舌小学校と味舌東小学校について、平成20年4月の統合に向け、取り組んでまいります。とりわけ、統合に伴う子どもたちの不安感を取り除き、期待に満ちた統合となるよう「児童支援プログラム事業」を実施いたします。また、通学路の安全対策についても保護者のご意見を伺いながら進めてまいります。さらに、学校施設の整備のための設計等を行ってまいります。

基礎的基本的な学力を向上させる取組としましては、引き続き「自学自習力育成サポート事業」を実施いたします。また、夏季休業の期間、学生や地域のボランティアの協力を得て、「夏休み学校へ行こうプラン推進事業」を実施してまいります。この事業は、これまで実施している水泳指導を中心にしながらも、各学校が自主的に計画した学習メニューを作成し、子どもたちに夏休みを計画的、意欲的に過ごさせるための取組であります。

また、進路選択の支援としまして、児童・生徒が家庭事情や経済的

理由により進学をあきらめることのないよう、相談活動等を通じて奨学金活用、進学後の継続的相談、自主活動や学習機会等の情報提供、さらには、高校中退者等の地域における支援体制づくりや個々のニーズへの対応などを行ってまいります。

教育環境の整備・充実につきましては、引き続き、校舎の耐震補強や、トイレ、給食調理場の改修を計画的に進めてまいります。

生涯学習につきましては、「つどい・ふれあい・まなびあい」をテーマに、生涯学習関係団体の活動発表の機会をつくるため、「生涯学習フェスティバル」を開催してまいります。

生涯学習施設につきましては、新鳥飼公民館、安威川公民館を、より安心して利用しやすい施設としてお使いいただけるよう改修してまいります。また、千里丘公民館において、市民図書館及び鳥飼図書館センターの図書館の貸出業務を実施してまいります。

さらに、スポーツ施設での取組としまして、温水プールで簡単な筋力トレーニングやストレッチを行うアクアセラピーを開催し、高齢者等の健康増進を図ってまいります。

第4に「暮らしをささえ、活力にあふれたものづくりを進める広環都市づくり」についてであります。

厳しい財政状況下にある本市では、歳出削減に取り組む一方で、新たな自主財源の確保もまた喫緊の課題であります。その方策の一つとして、産業活動を振興し、安定した財源を確保するため、「企業誘致条例」を制定いたします。

市内の商工業の活性化施策につきましては、市が指定する研修機関で受講した経営者並びに従業員の研修費用の一部助成を拡充してまいります。

農業施策につきましては、本年度も「環境が育つ農業のあるまち」を合言葉に、農業祭、品評会等を支援してまいります。また、農業水路の整備として、神安土地改良区が施工する鳥飼南水路安全柵設置工事の実施にあたり、市も一部負担し、安全性を高めてまいります。

消費者保護につきましては、これまで総合福祉会館に設置しておりました消費生活相談ルームを市役所に移転して、他課との連携を強化し、引き続き、消費生活相談を行い、商品の購入や消費者の安全・利益に関する苦情・要望などに対応してまいります。

第5に「安全で快適な生活を生みだす好環都市づくり」についてであります。

住宅環境の整備につきましては、市営住宅のうち老朽化の著しい鳥飼野々団地及び鯨生野団地を市民プール跡地に建て替える基本構想を策定してまいります。また、公共施設が原因となっている電波障害につきましては、2011年のデジタルテレビ放送への完全移行を前に、アナログテレビ放送で本市が障害対策を行っている区域でのデジタルテレビ放送の受信状況調査を行ってまいります。

重点施策であります安全・安心のまちづくりを推進するための施策につきましては、災害対策を総合的かつ計画的に推進し、市民の生命・身体・財産を守ることを目的に「災害対策推進条例」を制定いたします。防災対策では、「地域防災計画」の見直しに取り組むとともに、非医療従事者による使用が認められたAED（自動体外式除細動器）を市役所及び消防署所に設置し、救命の向上を図ってまいります。また、国民保護法に基づき、武力攻撃から市民の生命・身体・財産を保護するため、警報の伝達や避難の指示などについて定めた本市の国民保護計画を近隣市町と連携し、策定してまいります。

消防施策であります。本年度は本市で初めて女性の消防士を採用いたします。さらにきめの細かい消防行政につながっていくものと思います。また、救助工作車の更新や女性消防士採用にかかる消防庁舎の改修を行ってまいります。救急施策としましては、引き続き、救急

救命士の養成に取り組んでまいります。

葬祭事業につきましては、簡素・低廉・厳粛な市営葬儀の徹底を図り、また、葬儀会館につきましては、駐輪場の屋根の設置など、施設の整備に取り組んでまいります。

地球温暖化防止や省エネルギーへの取組としましては、市と市民、企業が協働で本市の温室効果ガス排出量を削減するため、環境NGOや市民団体等の支援を受け、環境家計簿普及員の育成や啓発イベントなどを実施し、エコライフを推進してまいります。

また、ごみの減量化としまして、これまで試行しておりました剪定枝のチップ化を本格的に開始し、公共施設をはじめ市民団体に活用いただくことで資源循環についても推進してまいります。さらに、環境センターにおきましては、悪臭の軽減や害虫駆除のため、従来の化学薬品よりも環境にやさしく効果も高いEM菌の使用に切り替えてまいります。

生活道路の安全性を高める取組としましては、千里丘東23号線道路及び千里丘南千里丘線歩道の改良工事を行ってまいります。

市民の皆さんからの要望が多く、検討を続けておりました公共交通網の整備につきましては、鳥飼地区の既存バス路線から離れた地域において、公共施設を巡回するバスの運行を一定期間試行し、そ

の効果を検証してまいります。

上水道事業につきましては、引き続き、太中浄水場等の施設改修、配水・給水管の布設替え、鉛管対策などを計画的に進めてまいります。一方、経営改革により水道料金の値上げを回避するよう費用の抑制を図りつつ、安全でおいしい水を安定的に供給してまいります。

また、浸水対策としましては、異常降雨による浸水に対し、早期の状況把握と早期出動態勢を整えるとともに、被害を未然に防ぐため、水路の水位上昇を自動的に感知・通報するシステムを構築し、迅速な対応を図ってまいります。

第6に「市民とともに創りあげる高感都市づくり」についてであります。

行財政改革につきましては、平成16年度に策定しました「摂津市行財政改革第3次実施計画第1期アクションプラン」を、国の指針に基づき「新アクションプラン」として改定し、これまで以上の改革を断行する決意で着実に進めてまいります。とりわけ市民の皆さんが厳しい目で見られる職員数や給料・手当につきましては、これまでも行財政改革実施計画に基づき、適正化と抑制に努めてまいりましたが、「新アクションプラン」におきましても、さらに明確な目標を定

め、職員数を平成 21 年度までに 700 人以下に、給料・手当も市民の皆さんの理解が得られる制度へと改めてまいります。さらに、特別職である水道事業管理者は置かず、その業務を市長が行う体制としてまいります。

また一方、政策形成能力や経営感覚を持ち、地方自治をとりまく時代の変化を敏感にとらえ、市民とともに行動する職員を育てるため、「人材育成基本方針」に基づき、研修や自己研鑽を進め、一人ひとりが複雑多様な行政課題に対応できるよう、人材の育成に取り組んでまいります。

電子自治体の推進としましては、個人情報保護の観点から、情報セキュリティを確保し、本市の実情に合った電子自治体の構築に向けて、「摂津市 I T 化計画」の策定に取り組んでまいります。また、業務の簡素化・効率化と市民サービスの向上を図るため、最適なコンピュータシステムの導入について検討してまいります。

最後に、市制施行 40 周年記念事業につきましては、厳しい財政状況のなか、市民生活に密着した行政課題を優先するため、できる限り簡素、厳粛に行うことといたしました。「記念式典」、「市勢要覧の刊行」、「巡視船『せつつ』への記念体験乗船」、「市の『鳥』の制定」、

「市のマスコットキャラクターの制定」、「『人間基礎教育』体験談の募集」の6つに絞り込みましたが、記念式典のアトラクションでは文化連盟の協力を仰ぐなど、市民の皆さんに広く参加していただける企画とし、本市の発展を祈念して40周年を盛り上げてまいる所存であります。

以上、市政運営に当たっての基本的な考え方、並びに本議会にご提案いたしております施策の概要につきまして、ご説明いたしました。

平成18年度も解決しなければならない課題は山積しておりますが、「やる気で本気になれば不可能はない」と確信しております。私をはじめ、特別職、管理職の指導力と、全職員の英知を結集し、「やる気、元気、本気」をモットーに、厳しいなかでも、「摂津のまちの元気づくり」に向け、予算執行に当たってまいる所存であります。どうか皆様方のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、市政運営のご説明とさせていただきます。